

2020年6月議会報告

あなたの声を 議会へ



総合政策委員会



とばめぐみ [見沼区]

すべての小規模企業者・ 個人事業主に支援を

市内小規模企業者・個人事業主に10万円の緊急経済支援が実現しましたが、市は白色申告者に対して、「開業届出書」の提出を求めました。青色申告者には必要ないものです。また、事業主の中には「開業届出書」を紛失した方や未届けの方がいます。とばめぐみ市議は、「開業届出書」がなくても事業収入を申告し納税していれば、青色申告者同様支給することを強く求め、紛失者は代替書類、未届け者は確認書を提出すれば、申請できることになりました。

市民生活委員会



金子あきよ [南区]

「マイナンバー通知カード」 廃止に異議あり

国が「マイナンバー通知カード」を廃止するに伴い「さいたま市戸籍等関係事務手数料条例の一部改正条例」が提案されました。今回の「通知カード」廃止には、マイナンバーカード取得を一気に進めたい政府の意図があることは明らかです。金子あきよ市議は「現時点でも8割以上の市民がマイナンバーカードを持っていない。マイナンバー制度を推進することのみ資する一方で、市民負担を大きくする制度は問題」として条例改正案に反対しました。

保健福祉委員会



神田よしゆき [北区]

保育士 配置基準の 緩和は認められない

保育所等の保育士不足を解消するためとして、市は特例で「市長が保育士と同等と認める者」など、無資格者を「みなし保育士」とする条例案を出しました。神田よしゆき市議は「保育士不足は、仕事の専門性と責任の重さに対して給与等の処遇が低いことが原因だ。処遇改善はまだ足りない。配置基準の緩和は処遇改善にも逆行し、保育の質も確保できない。先行実施の11政令市でも保育士が増えた実績は把握されておらず、待機児童対策にもならない」として反対しました。

総合政策委員会



たけこし連 [中央区]

市内業者に10万円を 給付する支援が実現!

2月議会予算委員会(2月28日)で、たけこし連市議が市内事業者への休業補償を求めたところ、市は「現金給付は難しい」と答弁。党市議団は「本市の財政規模ならできる」と繰り返し要望し、総合政策委員会では事業者への支援を求める要望書が超党派でまとまりました。新型コロナの影響が深刻化する中、さいたま市も独自の経済支援(1事業者10万円)に踏み切ることになり、6月議会で補正予算が成立しました。発表翌日に区内の店舗に知らせて回ると、どの店主からも喜ばれました。

文教委員会



松村としお [緑区]

10万人拍手 子どもの心を大切に

松村としお市議は「医療従事者に感謝の拍手」として市内学校の10万人の子どもを動員した企画について質問。「なぜ拍手するか分からない」などの子どもの声をもとに「自発性や心を置き去りにして拍手を強制し、子どもや保護者を傷つけた」と指摘。市教委は「課題としてとらえたい」と答弁。松村市議は「教育長は一般質問で『子どもの心に寄り添う』と答弁したのに、子どもの心を踏みにじたことに猛省を求め」とコロナ禍のもとで子どもへのケアを第一に考えるよう強く求めました。

市民生活委員会



久保みき [桜区]

DV被害者への給付 行き渡る方策を

ひとり10万円の特別定額給付金が世帯主に送付されることから、DVや虐待の被害者には行き渡らないことが問題視されていました。当事者からの相談を受け、久保みき市議は市に対して「被害者に行き渡る方策を作してほしい」と訴えていました。国の動きもあり、今回申し出をすれば住民票を移動していない避難者(被害者)も給付金が受けとれるようになりました。今後は市が避難者(被害者)を把握し、積極的に支援を届けるしくみが必要です。

まちづくり委員会



とりうみ敏行 [浦和区]

公園遊具の 修繕をいそいで

「使用中止の公園遊具の修理と設置をいそいで」という請願が4803筆の署名とともに市民から出されました。質疑により、766基のうち5月末までに426基が修理を完了したことが明らかになりました。しかし、すべての遊具の設置が完了するには2023年までかかるということです。とりうみ敏行市議は「子どもたちの願いがこもった請願だ。3年間もかかるというのは納得できない。国の補助金頼みではなく、市独自の財源も使って急ぐべき」として、採択を求めました。しかし会派の反対により不採択となりました。

日本共産党さいたま市議会議員団

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤6-4-4さいたま市役所内
TEL: 048-829-1811 FAX: 048-833-8165

日本共産党さいたま市議団

検索

